

自立を支える

## スグれもの

加島守

カーボン歩行車「S.A.L.J.O.L」

Aさんは5歳年下の妻と2人で暮らす75歳の男性です。1年前から脊柱管狭窄症<sup>せきちゅうくわんさうさう</sup>で歩く痛みが出てしまい、散歩やちよつとした買い物に行くのもおっくうになってきてしまいました。

介護保険申請をして要介護1の認定を受け、何か歩くときに良いものはないか、ケアマネジャーに相談することだ。福祉用具専門相談員と共に訪れ、「歩くとき、何に困っているか」

「どこに行きたいか」「歩いて何がしたいか」などを聞いてもらいました。

Aさんが「5分歩くと痛みが出て困る。できれば歩いて5分ぐらいのコンビニ<sup>コンビニ</sup>に行き、ビールや焼酎を買いに行きたい」と伝えたところ、軽量でスタイルが良い歩行車を紹介され、レンタルしました。ちよつとした坂道でも進みすぎないように、抑速ブレーキを搭載。5<sup>キ</sup>時まで重量物を入れることができるバスケットと休憩用のいすも付いています。

晴れているときは買い物に行きます。体力が戻り、気持ちも楽になり、今日は何を飲もうかと考えながらコンビニに行くのが楽しみになりました。

(高齢者生活福祉研究所  
理学療法士)



ラックヘルスケア株式会社 (☎06・6  
244・0636)